



神宮前だより

令和五年度のスタートに当たり

校長 加藤 康弘

この四月一日から、渋谷区立神宮前小学校に着任いたしました。校長の加藤 康弘と申します。渋谷区の学校には、以前教員として勤めていたことがあり、再び渋谷区の子供たちの教育に携われることになりました。これも大切な御縁と受け止め、全力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

令和五年度は、開校九十三周年を迎え、これまでの歴史と伝統・文化や活気ある本校の校風の下さを生かし、子供たちに関わる全ての方々の心の温かさを織りなしながら教育を進めていきます。さて、暖かい春の息吹が校庭の桜や木々の新芽を生き生きとさせ子供たちの新たな一年のスタートを応援してくれているようです。令和五年度が始まりました。お子様の御入学、御進級おめでとうございます。

今年度、神宮前小学校は、新一年生六十名を迎え、全校児童二百八十名となりました。新一年生の保護者の皆様、お子様の小学校入学おめでとうございます。

子供たちは、新たな気持ちで新しい学年を迎え、大きな期待を抱いていると思います。その期待に応えられるよう、教職員一同、全力で頑張つてまいります。どうぞ、よろしくお願ひいたします。

本校は、国際色豊かな地域性を生かし、生命尊重・人権尊重の精神を基盤として、児童が友達、教師、地域の人々との出会いや関わりを大切にしながら、楽しく真剣に学べる学校づくりを目指します。教育目標には「自ら考え高め合う子」「進んで実行する子」「健康で豊かな子」の三点を掲げています。そのうち、今年度の重点目標を「自ら考え高め合う子」としました。それは、子供が自分の考えをもつとともに、他者と関わりながら考えを深め、自他ともに高め合える学びをつくる授業へと改善を進めていくことを重点とするた

めです。

その実現に向けた取組の一つとして、子供がタブレット端末を主体的に身近な道具として活用する授業スタイルへの転換が挙げられます。

本校では昨年度まで、タブレット端末の活用を通じた「自ら学びに向かう児童の育成」を目指した二年間の研究に取り組んできました。今年度はその研究の成果を基盤に、学習者用デジタル教科書などを活用して個々のニーズに応じた個別最適な学びとともに、コミュニケーションツールなどを活用して、他者と考えを共有し、自分の考えを深める協働的な学びをつくる授業への改善を進めていき、「自ら考え高め合う子」の育成を図っていきます。

また、これまで行ってきた総合的な学習の時間のシブヤ科を「シブヤ未来科」と改め、教科横断的な探究学習についても充実を図っていきます。保護者、地域の皆様におかれましては、今年度も変わらぬ御理解と御協力、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

四月の目標

【生活指導】

きまりを守り、仲良く生活しよう

【保健目標】

自分の体を知ろう

【給食目標】

みんなと協力して楽しく生活しよう

